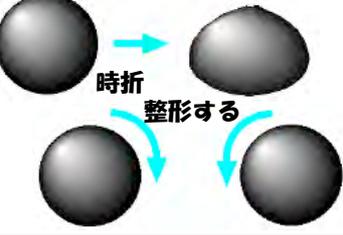
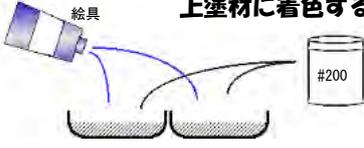


# 石灰クリーム団子の作り方

田中石灰工業株式会社 謹製

※生石灰クリームを使用した団子の作り方は色々存在します。ここに説明しているのはその一例です。

<p>1.</p>  <p>中塗土 (ハンダ土) 砕砂</p> <p>空混ぜ</p>	<p>【準備1】 2リットル程度の容量のボウル等に中塗土と砕砂を全量入れ、充分に空混ぜします（この段階ではまだ水は入れません）。</p>
<p>2.</p> <p>水は混ぜない</p>  <p>アク抜きスサ</p>	<p>【準備2】 アク抜きスサを30～50g（容量として約200cc相当）を入れ、さらに空混ぜします。</p>
<p>3.</p> <p>ここで水を加える</p>  <p>水</p> <p>適度な硬さに練る</p>	<p>【準備3】 500mlのペットボトル一杯水を準備し、350～400mlの水を少しずつ注いで硬さを見ながら練ります。丁度の団子を作り易い硬さになったら準備完了です。</p>
<p>4.</p> 	<p>【団子作り】 おにぎりを作る要領で団子を作ります。大人のこぶしぐらいの大ききで約6個の団子が作れます。勿論大きさは自由ですが、あまり小さくなったり、大き過ぎると仕上げが難しくなりますのでご注意ください。</p>
<p>5.</p>  <p>時折 整形する</p>	<p>【乾燥】 風通しの良い日陰で3～4日乾燥させます。乾きはじめの頃は団子に水分が多いため自重で変形します。時折転がして球形に整形して下さい。この段階での乾燥時にはドライヤー等は使用しないでください。急激乾燥による収縮で割れてしまいます。</p>
<p>6.</p>  <p>円を描くように磨く</p>	<p>【真球づくり】 乾燥した団子はジャガイモのようで、まだまだ完全な球形ではありません。市販の木工用ホールソーの刃で削り、真球に近づけます。団子とホールソーとを反対に回しながら全面に刃を当てるのがコツです。 ※ホームセンターなどで700円前後で販売されています。</p>
<p>7.</p>  <p>シーラー</p>	<p>【下地調整】 シーラー剤（吸水調整剤）を塗ります。団子が転がらないようにペットボトルのキャップに載せ、シーラーを刷毛で全面にまんべんなく塗ります。底にも塗り忘れなく・・・。30分～1時間乾燥させないといけませんから、少し休憩しましょう。</p>
<p>8.</p>  <p>N-20</p>	<p>【中塗】 シーラー剤が乾燥したら中塗材「N-20」をパレットナイフやアイスクリームの使い捨てスプーン、ヘラなどで全体に塗付けます。ここでも底にも塗り忘れないように・・・。</p>

<p>9.</p>  <p>円を描くように削る</p>	<p>【中塗後の整形】 「N-20」の塗付けが終わったら少し乾燥しはじめたところで、フィルムケースやペットボトルのキャップを使って、ホールソーによる整形と同じ要領で全面をまんべんなく整形します。その後、キャップの上で乾燥させます。この時はドライヤー等を使っても大丈夫です。8.～9.の工程を2回繰り返しますとキャップと接した部分の凹みも消えます。</p>
<p>10.</p>  <p>上塗材に着色する</p>	<p>【上塗材への着色】 上塗材「#200」を適量パレットや小さめの器に移し水彩絵具を適量混ぜて色をつけます。勿論、色はお好みでどうぞ。原色に近い濃色を使うと仕上がりが綺麗です。密閉できる容器であれば、余った材料を保管し、後々使用できます。</p>
<p>11.</p>  <p>不均一に塗付ける</p>	<p>【上塗材の塗付】 まずはじめに無着色の上塗材「#200」を8.～9.の要領で塗付け乾燥させます。これをもう1～2回繰り返して乾燥させた後、色付けに移ります。初めと同様の要領で着色した上塗材「#200」を塗付けます。1色でも良いですが、何色か塗付けても面白いでしょう。均一に塗付けるよりは、不均一に塗付けたほうが綺麗な仕上がりになります。塗付け後の整形作業で色が混じり合ったりにじんで、様々な模様が出来上がります。色付けが終われば、ドライヤーで乾燥させます。</p>
<p>12.</p>  <p>円を描くように磨く</p>	<p>【ピカピカ仕上】 ガラスのコップの口、フィルムケース、お猪口等を使い、整形時と同じ要領でピカピカに磨いて仕上げます。全体に円を描くように力を入れずにクルクル回しながら磨くのがコツです。丁寧に根気よく続けましょう。やがて光沢とともに、色の濃淡のある自然な模様が出現してきます。</p>
<p>13.</p>  <p>完成！</p>	<p>【仕上】 全体に光沢が出たところで全体にオリーブオイルを塗り、余分なオイルを拭き取ったところで軍手（ゴムの滑り止め等のついてない物）を両手にはめてもクルクル回しながら磨き上げると、より光沢が増します。お疲れさまでした。完成です。</p>